

学校廃校跡地の有効活用

戸塚正人(民主党・社民ネット)

廃校跡地は周辺の都市計画に影響を及ぼす土地でもある。早急に土地に合わせた活用方法を打ち出すべきかどうか。

政策経営部長 地区計画の変更に当たって、町の将来像を示す整備方針、整備計画を具体的に定める必要があります。いろいろな事例等も新たな町づくりの方針を検討する中で研究していきたいという

ふうに思っています。

廃校跡地を有効活用するには都市計画の用途変更をして地区計画へ移行すべきと考えるかどうか。

政策経営部長 市有財産の戦略的活用に関する基本方針の中で述べているように、一団地の規制、そういったところについても見直しを行い、地区計画への移行を含め積極的に見直しを図るということです。

小中学校普通教室にエアコンを

佐藤洋子(日本共産党)

小中学校普通教室にエアコン設置とトイレ改修、老朽化した施設修繕の具体化は、

教育長 エアコンは設置する方向で、トイレも二〇一四年度までに改修する計画です。

町田市一般廃棄物資源化基本計画中間答申を受けて、生ごみ・プラスチックの資源化計画を問う。

施策実現を目指すことが重要であると認識しています。

地域包括支援センターの充実と、特別養護老人ホーム増設で高齢者の安心を。いきいき健康部長 すべての地域包括支援センターの配置を四人以上とし、機能強化を図っていきます。特別養護老人ホームは、二〇一一年度までに要介護度三以上の入所待機者の解消を目標として六一四床の整備を進めています。

ファッション・マネイジメント

熊沢あやり(志政クラブ)

予算計上が難しいからと、最初から流用する予定で予算の組み立てをするのは、

どう取り組んでいくのか。

市長 これから具体的な作業の計画を立てていくと同時に、東京都との折衝、話し合いに努めていきたい。

財務部長 年度途中の追加需要は補正予算での対応が原則で、緊急かつ補正予算が間に合わない場合に内容変更等の制度があります。今後とも厳格な審査を行っていききたい。

多摩都市モノレールの延伸について、町田として、

若い時から認知症予防を！

宮坂けい子(公明党)

一八歳以上、六五歳未満の若年性認知症が増えている。若い時からの認知症予防に積極的な取り組みを求める。

いきいき健康部長 認知症予防には生活習慣病予防が重要であると認識しています。市では、青年期、壮年期からの生活習慣の改善のために健康教育講座等を行っています。

総務部長 今、市役所では文書の電子化も進めているところですが、費用対効果なども踏まえて検討したい。

低周波音被害が急増している。発生源対策や条例制定や、誠意ある対応を求める。

環境資源部長 低周波等による影響が想定される施設の建設などの相談や情報が入った場合、周辺への説明を十分に行うよう指導していきたい。

町田市の環境対策に

佐藤和彦(民主党・社民ネット)

当初の環境配慮行動計画に掲げたCO2削減目標に近づける努力をすべきと考えるが。

環境資源部長 市内活動としては職員のエコオフィス活動を実施しているところですが、市民協働での環境に対する取組を推進していくべきと考えるが。

環境資源部長 環境マスタープランの中で行政及び市民、

携帯電話基地局の携帯人への影響は

わたへ真実(民主党・社民ネット)

携帯基地局が増え続けている。頭痛や耳鳴り等で、電磁波の影響を感じている市民もいる。この建設について

情報把握し規制することはできるか。また乱立による見苦しさについて景観条例で規制することはできるか。

開発調整担当部長 携帯電話基地局のうち、鉄塔の高さが一五メートルを超えるものについては、工作物としての

農園の活性化・養育家庭の周知

松岡みゆき(自由民主党)

耕作放棄地への対応は。経済観光部長 平成二十二年には、耕作放棄地は全部で約一〇ヘクタールあります。現在、国が定めた耕作放棄地解消支援ガイドラインによる耕作放棄地解消計画を作成する準備を進めています。

農園を通じ高齢化社会の活性化を促してはどうか。

経済観光部長 市民農園利用者のうち、約半数以上の方

が六〇歳以上という実態を把握しており、今後、高齢者に向けた市民農園については研究していきます。

養育家庭の周知を問う。子ども生活部長 毎年、里親月間に合わせて普及活動を行っています。通年の活動としては、子ども家庭支援センター等において、制度紹介のパンフレットを配付しています。また、市内の保育園等ではポスターを掲示しています。



鶴間市民農園の様子

医療費の窓口負担減免の周知を

池川友一(日本共産党)

医療費の窓口負担減免制度を利用できるよう医療機関などに広く周知を求める。

いきいき健康部長 広くすべての病院にお知らせしていくのはなかなか困難ですが、比較的大きな病院については今後研究していきたい。

若者の就労支援。特に高校中退者やひきこもりの方への総合的対策を求める。

経済観光部長 国ではハロ

配偶者暴力の根絶を目指す

河辺康太郎(民主党・社民ネット)

市独自の配偶者暴力対策基本計画の策定が必要と考えるが市の考えは。

鷲北副市長 現在の町田市男女平等推進計画については、二〇一二年度から改訂を行います。その際に、配偶者暴力対策にかかわる計画も盛り込んでいく予定です。

公園遊具の設置について、利用者のニーズをよりとらえた遊具選定をすべきだがどうか。

都市づくり部長 ニーズの把握というところですが、これは、市のほうで新たに公園を設置する場合については、町内会等にお話をし、また近隣の方にお話をし、説明をして、どのような遊具がこの公園には必要なのかという声を聞いています。公園でお子さんまたはお母さんなどの声が聞ければと我々も思っています。

より良い町田で生活を求め！

渡辺巖太郎(まだ新世紀みんを)

中心市街地について問う。

経済観光部長 今年度から、原町田二丁目地区周辺の活性化を促進するために、町づくりの進め方について検討作業を進めています。地区の現状や課題等を把握するため、主に基礎調査等を行っています。

成人歯科検診について問う。

いきいき健康部長 成人期

ゴミの資源化について問う

若林章喜(諸派)

ゴミ減量・資源化に向け基本計画の中間答申が出た。今後、現施設も含め資源化施設についてはどういった検討がされるのか問う。

環境資源部長 老朽化している焼却炉の対応や新たな資源化施設の施設規模、あるいは設置場所等について検討を進めます。

町田市のリユースに対する取り組みは。

環境資源部長 環境省の事業に協力し、今後の町田市における環境行政、あるいは廃棄物行政にこの成果を活用し、一層の減量、資源化に寄与していきたい。

いきいき健康部長 今後は関係部署と情報共有しつつ、共通認識を持ち、より安全な対策に努めていきたい。

環境資源部長 子育て世代の方、高齢者、障がいをお持ちの方などが利用している窓口を中心に配付しています。